

歯っぴい 堀内歯科新聞

vol. 44

〒854-0001 諫早市福田町 37-3
TEL 0957-21-5333
E-mail hdc@horiuchi-sika.com

当院の携帯サイトです。
お手持ちの携帯電話より
ご覧頂けます。



こんにちは、院長の堀内晃です。

さて、今月のお題は「**入れ歯**」についてです。

通常、みなさんが使っておられる入れ歯ですが、よく「痛くて咬めない」ということ言われることが多くありませんか？

どうしてでしょうね。こんなにたくさんの歯科があって、どの先生も勉強しておられるはず、、、なのに合わない。



咬まずに流し込む

歯並びが悪いと。。。

- 悪性新生物 (がん)
- 心疾患 (心臓病)
- 脳血管疾患 (脳卒中)
- 高血圧性疾患
- 糖尿病

五大生活習慣病

なぜ合わないのか、それはもともとの**歯並びと顎の位置があっていなかった**こと、そして**歯の形**に行きつくようです。

歯並びが悪ければ、咀嚼の効率が悪いということは、以前も当院の新聞で書いていたと思いますが、要するに強い力を加えないと咬めないということです。あるいは、咬まないで流し込んでいるということです。だから**歯を失くすことになった**とも言えますね。

顎の位置については、入れ歯をちゃんと作るほど、筋肉の反射で正常な位置に顎がずれようとしています。そうするとせっかく作ってもらった上下の歯の山と谷がずれまます。結果として山と山で無理やり咬むことになりますね。これも咀嚼効率の悪い状態になるわけです。

最後に歯の形ですが、入れ歯になると自分の歯とは違いますので、咬む力は**5分の1**程度までの力でしか咬めないそうです。

ということで、より顎運動の軌跡と食べ物の流れを考えた形の歯が必要になるということなんですね。無理な入れ歯で咬むことで歯ぐきはどんどんやせてしまい、どんどん入れ歯は合わなくなり、どれだけ辛抱して入れていてもやっぱり合わない入れ歯なわけですね。

入れ歯になると
咬む力
5分の1程度

よく咬める入れ歯で咬むことは**生活の質の向上**につながります。どういう入れ歯、どういう治療を選択するかでその後の人生って変わるんですよ。

